

テーマ 5 : 森ハブ・プラットフォーム構築

森ハブで提供する支援機能にかかる検討は令和3年度より取り組んでおり、今年度はこれまでの検討結果をふまえた現場実装に着手します

過年度の検討の流れ

令和3年度 エコシステム形成にかかる 事例分析



- 海外や異分野の先進事例を調査・検討し、日本の林業分野におけるエコシステムの形成方法について検討を行った
- エコシステムに必要な4要素と各地のエコシステムの形成ステップを検証し、エコシステムの中核となるコミュニティ機能の構築やコーディネーターの重要性を提言した

令和4年度 森ハブにて組成する エコシステムの検討



- 令和3年度の検討結果をふまえ、どのようにコミュニティ機能を構築するか検討を行った
- 日本各地の先進事例やスマート林業構築普及展開事業の推進地域等へのヒアリングを行い、地域の実態やどのような事業、支援の在り方が適切か検討した
- 検討結果をふまえ、森ハブ支援地域とマッチングさせるコーディネーター案を導出した

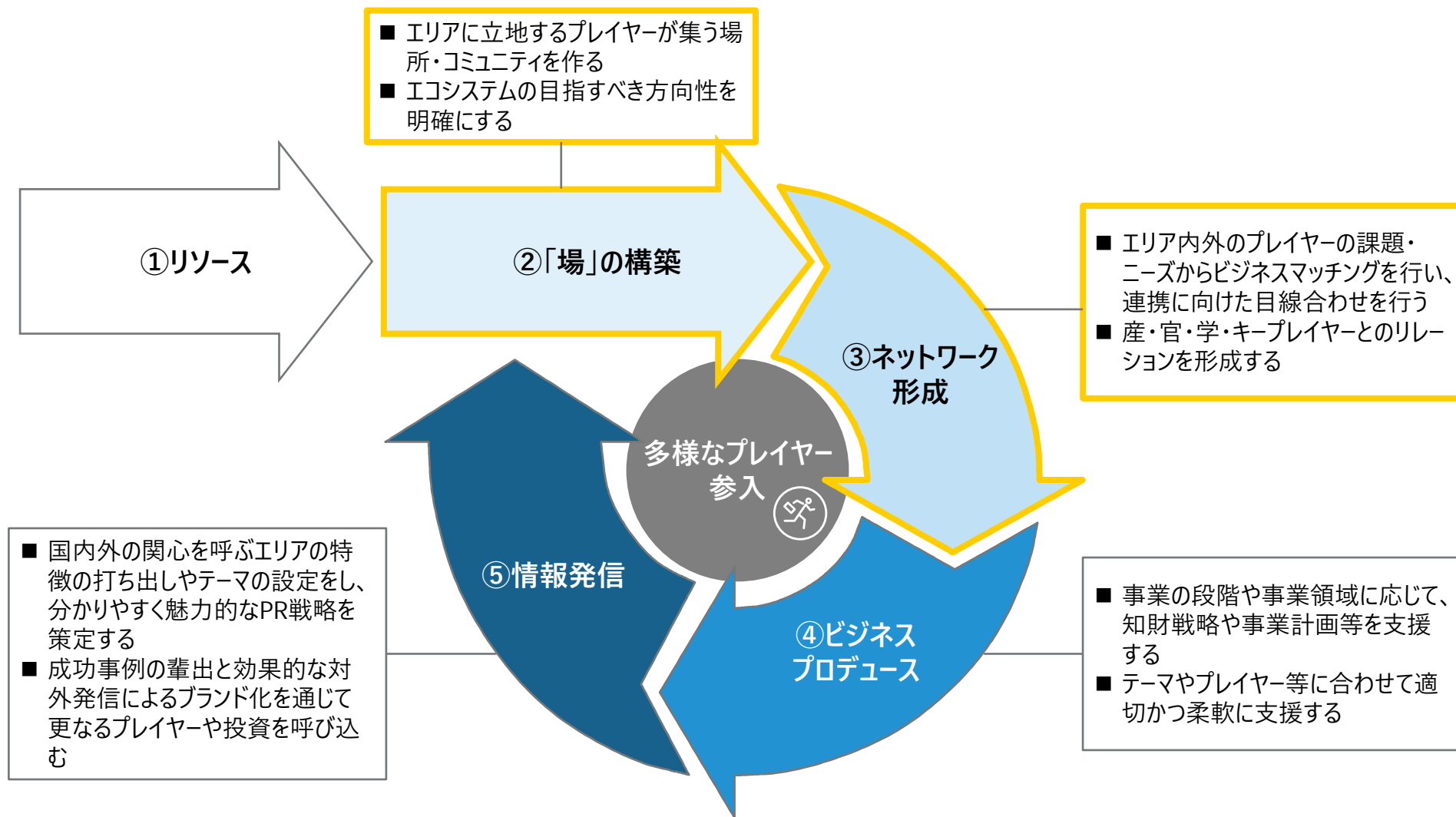
令和5年度 エコシステムの核となる プラットフォームの組成



- 過年度の活動をふまえ、プラットフォームの構築と参加者のニーズ把握にかかる取組を行う
- また森ハブによる支援実績を創出するため、先行して導出した支援地域やデジタル林業戦略拠点選定地域と連携し、コーディネーターによる事業支援を行う

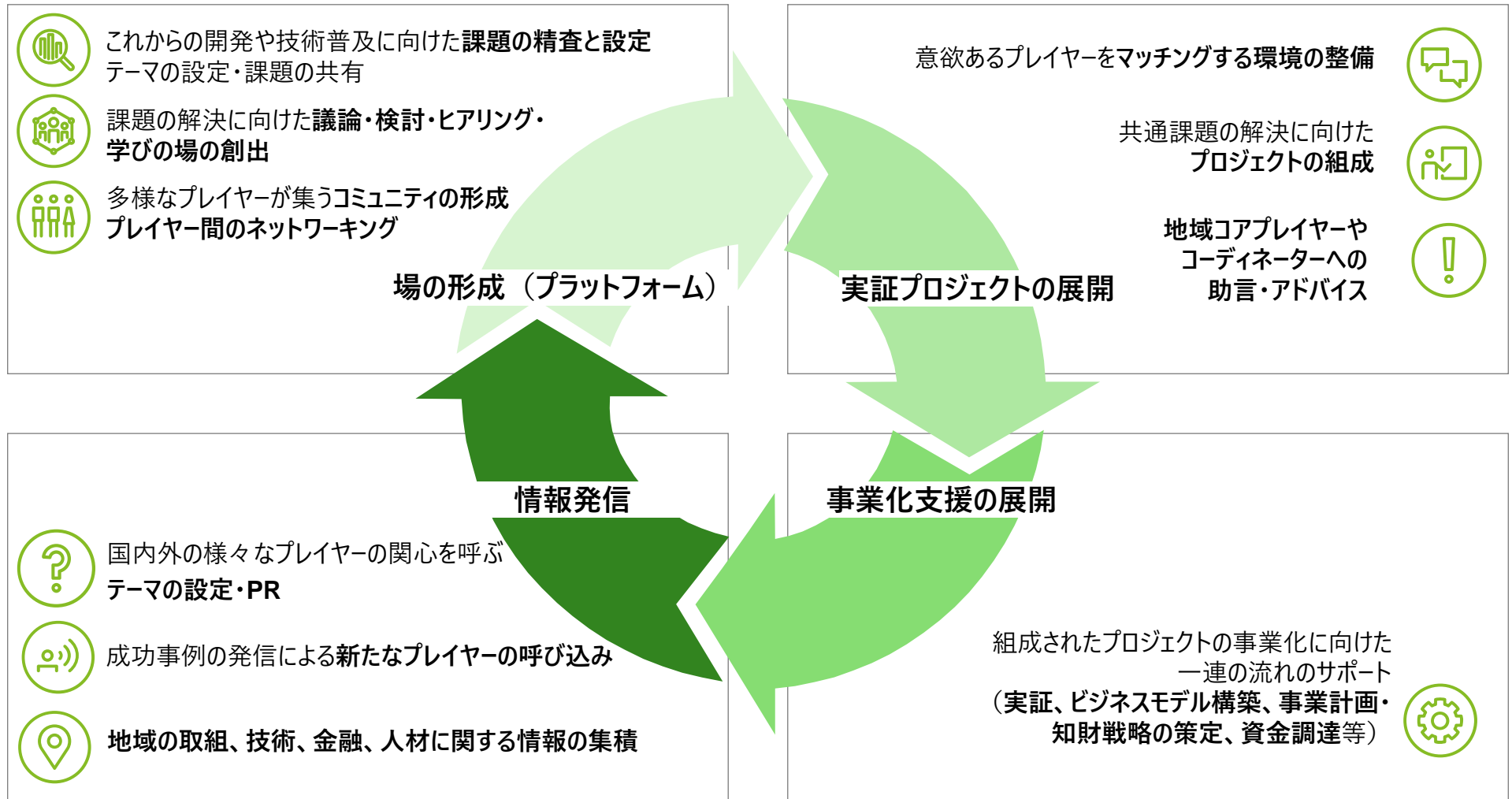
森ハブを中心としたエコシステムの形成においては、プレイヤーが集える「場」を整え、ネットワークを形成し、ビジネスマッチングを推進していく段階となります

森ハブを中心としたエコシステム形成



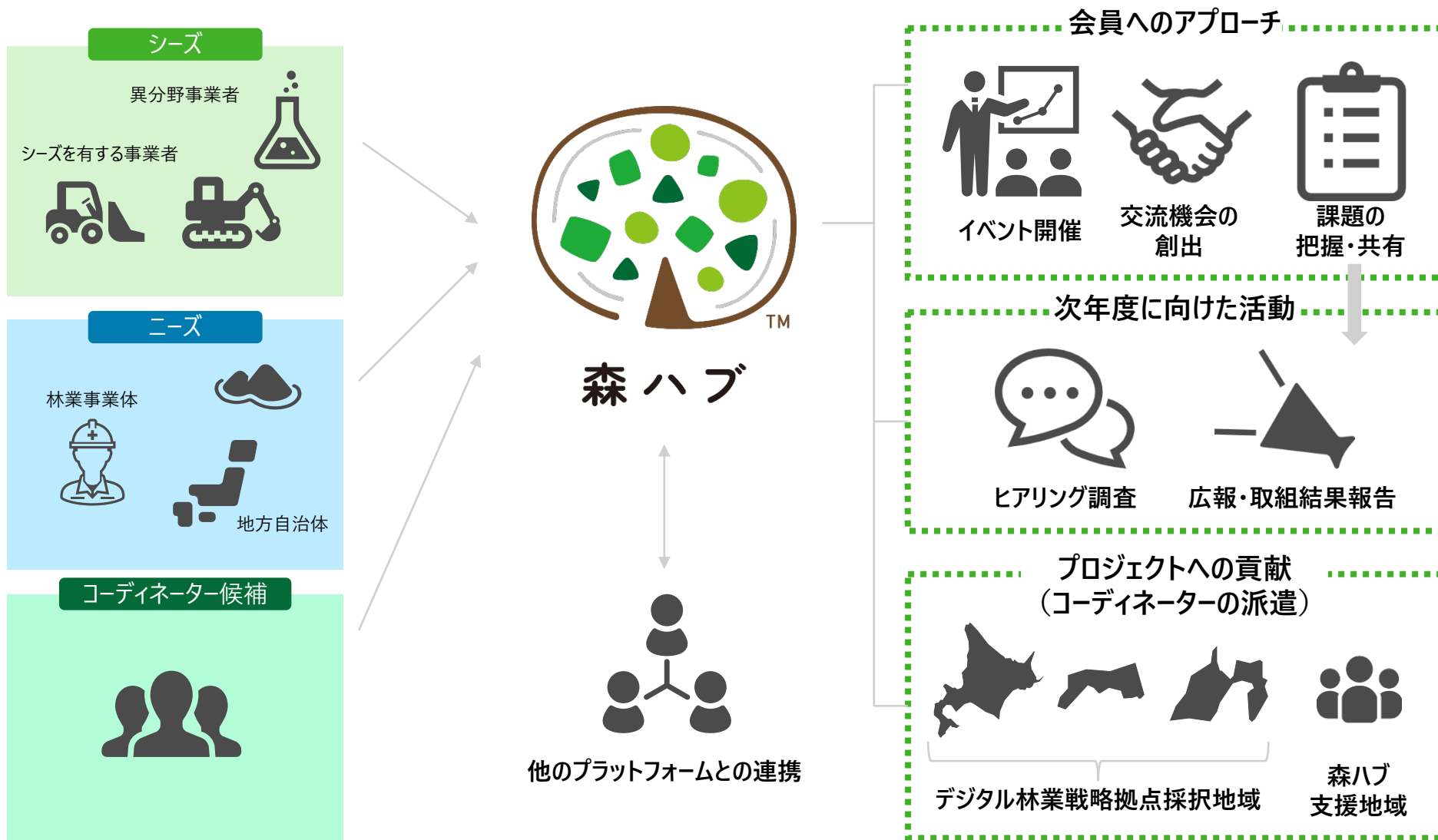
森ハブの支援内容や有すべき機能については 過年度事業にて先進事例や地域へのヒアリングを通じて検討しています

検討した森ハブの支援内容



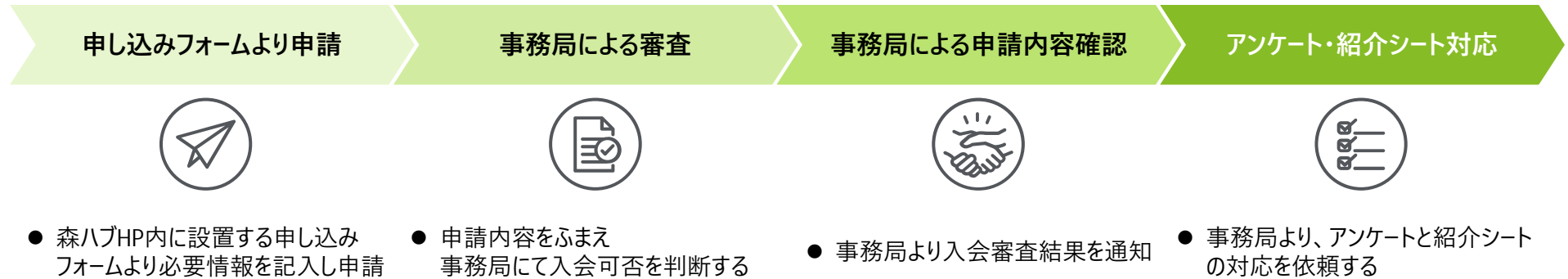
設置する森ハブ・プラットフォームでは課題の把握・共有やイベントを通じた交流機会の創出、並びにコーディネーターによる具体的な事業者支援を行います

森ハブ・プラットフォームの全体像

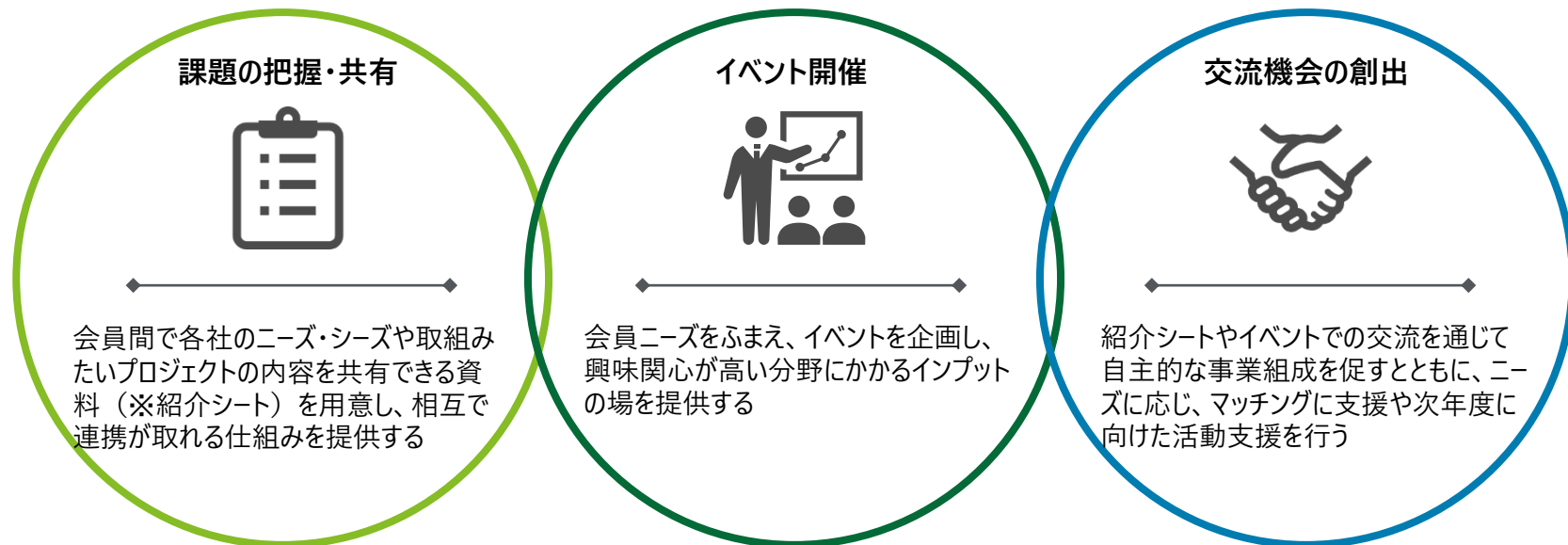


入会は申し込みフォームより受け付け、事務局の審査を経て許可を行います 会員は他参加者の課題やシーズの把握ができ、イベント等を通じた交流機会を得られます

入会までの流れ

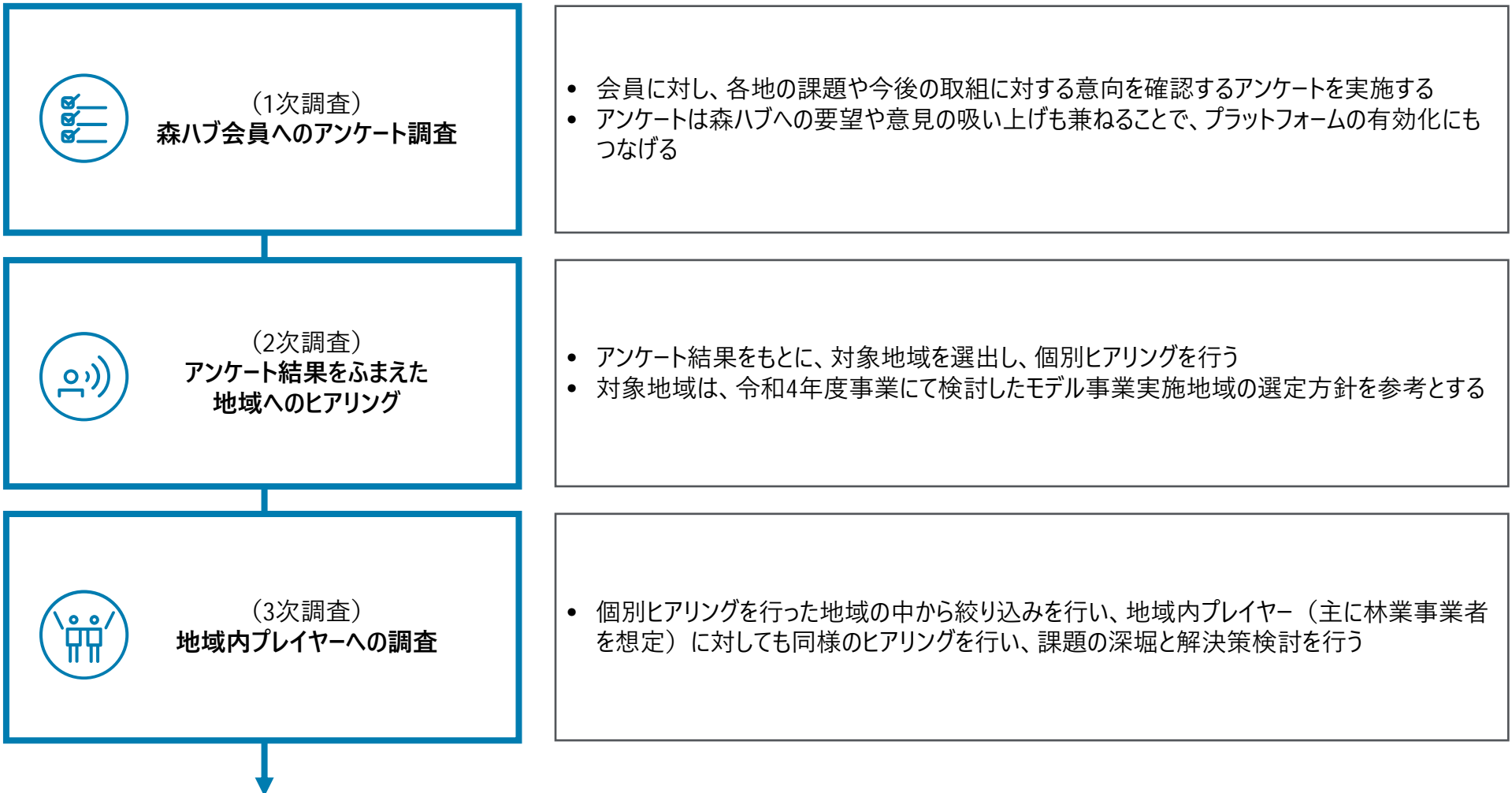


会員に向けたサービス内容



その他、会員に対するアプローチとして、ニーズ・シーズ調査をふまえた次年度以降の森ハブ支援候補地域の検討を行います

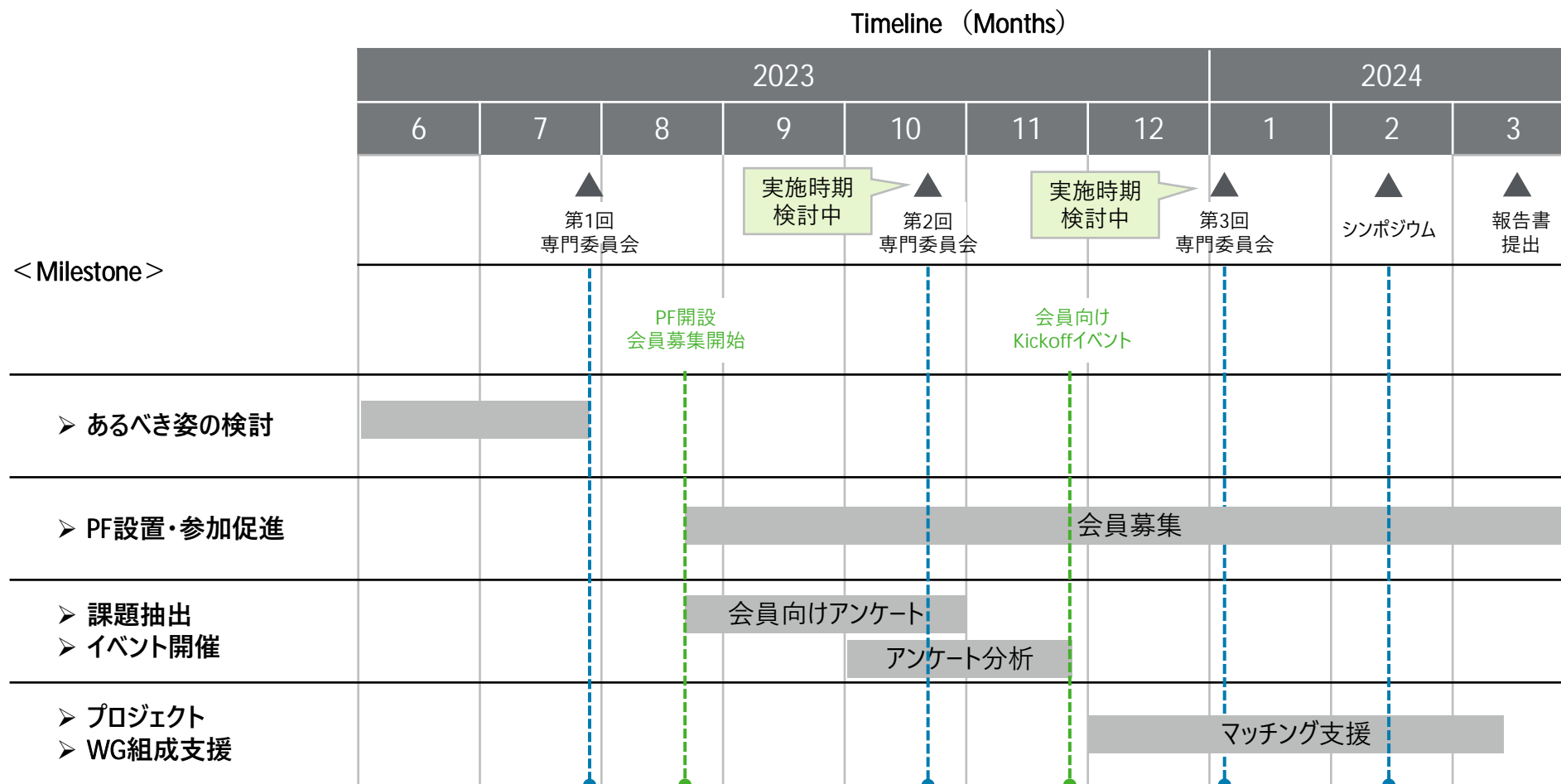
次年度事業に向けた会員へのアプローチ（※テーマ4にて実施）



候補地域リストの作成 / 次年度以降の取組の検討

森ハブ・プラットフォームにかかる年度内の活動予定は下記のとおりです

今年度事業の展開



Appendix

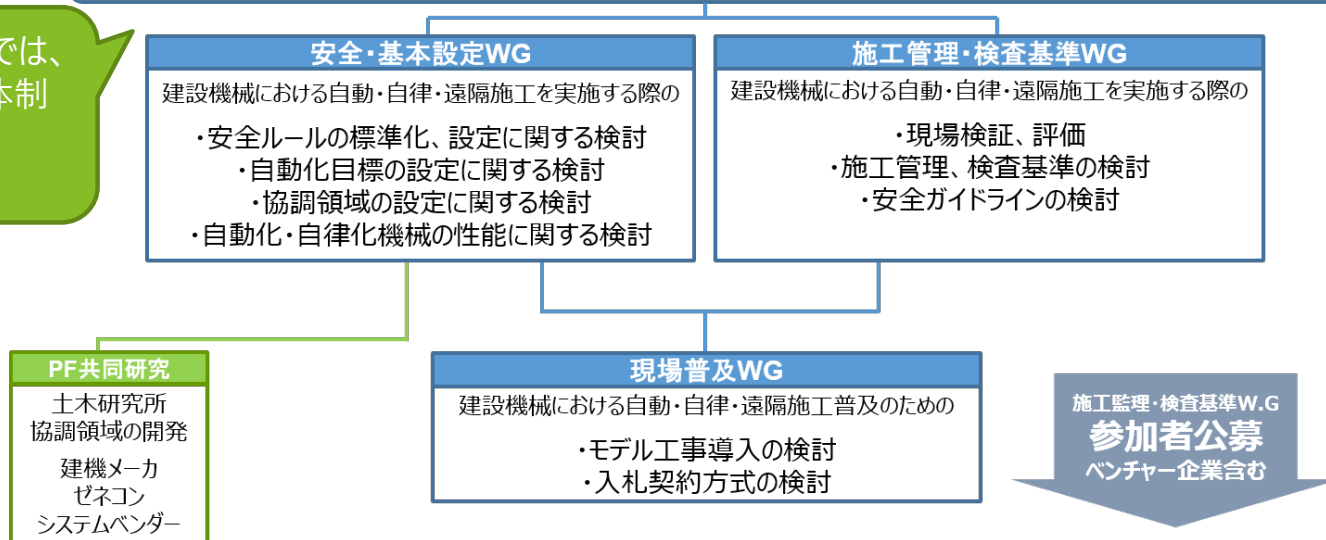
先行事例：建設機械施工の自動化・自律化協議会

建設分野では、新たな領域となる自動化・自律化・遠隔化技術について、現場状況を踏まえた適切な安全対策や関連基準の整備等により開発及び普及を加速化させ、飛躍的な生産性向上と働き方改革の実現を目的に、関係する業界、行政機関及び有識者からなる分野横断的な「建設機械施工の自動化・自律化協議会」が設置されている。

建設機械施工の自動化・自律化協議会

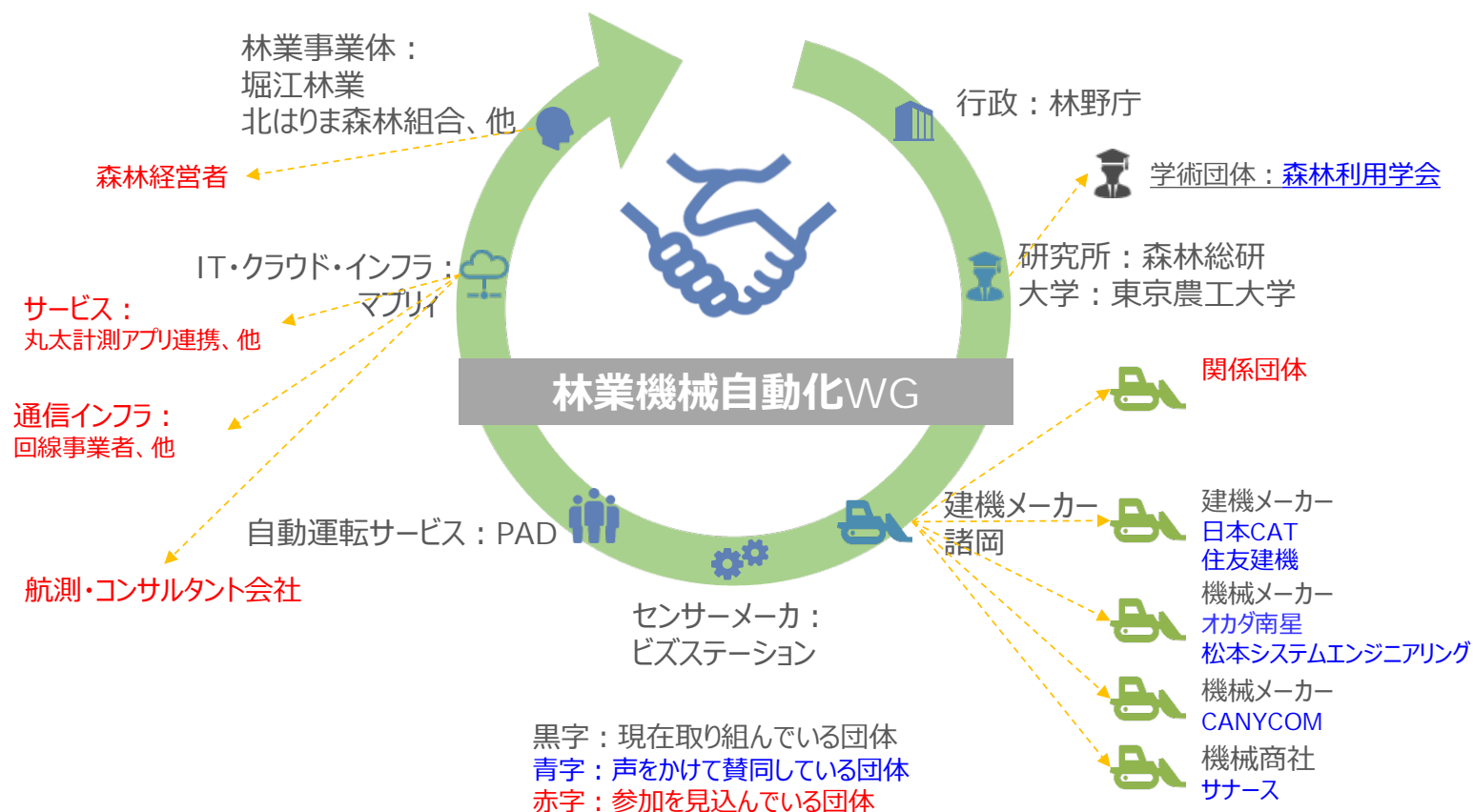
学識者：建設施工関係、ロボット関係、機械関係
 関係団体：建設関連団体、建設機械関連団体、ロボット関連団体
 行政機関：国交省、厚労省、経産省、各研究機関

林業分野では、
ここまでの体制
はまだ難しい？！



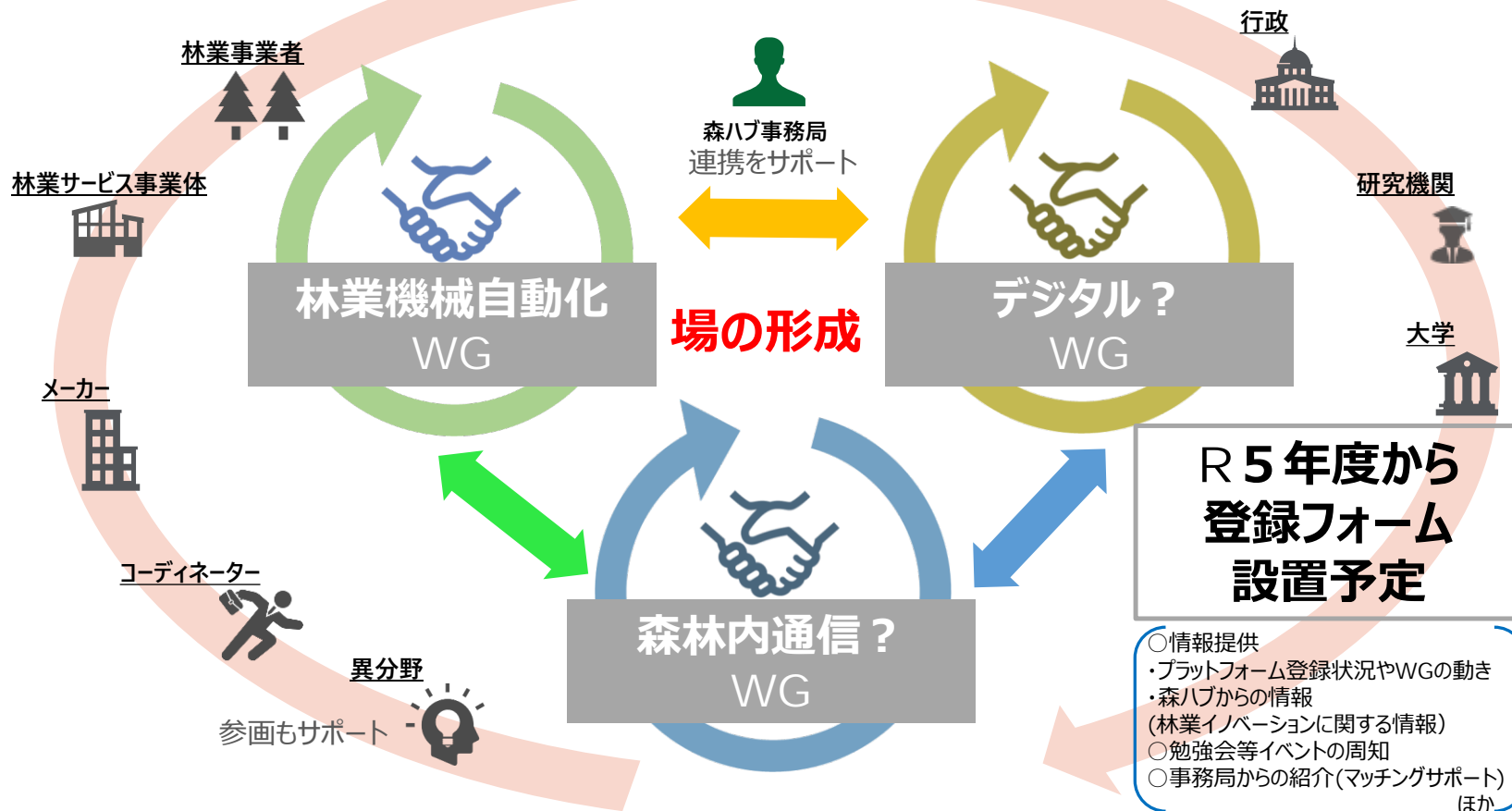
林業機械自動化WGのイメージ

産学官連携のプラットフォームを設立し、林業機械の自動化・遠隔操作化における課題や対策等について情報を共有し、民間主導で自動化を加速させる。



【参考資料：林業イノベーション推進シンポジウム（パネルディスカッション投影資料）】

森ハブプラットフォーム（仮称）イメージ



産学官連携のプラットフォーム。森ハブ事務局は、民間主導で設立されたWG同士の連携やつなぎも担いながら、場の形成をサポート。異分野から林業への参画もサポート。林業イノベーションの課題や対策等について情報を共有し、林業イノベーションを加速化。

森ハブプラットフォーム（仮称）へ参画しませんか？

- ◆ 林業イノベーションを進めていくには、様々な分野の皆さまの知見や連携が必要です。
- ◆ また、イノベーションを起こすためには、場の形成が大事です。
- ◆ 森ハブプラットフォーム（仮称）は、様々な場の形成づくりを加速化させていきます。
- ◆ 森ハブでは、皆さまに、来年度プラットフォームへの参画の募集を予定しています。
- ◆ 皆さまの参画によって、林業イノベーションを加速化させてみませんか。
- ◆ 森ハブプラットフォーム（仮称）への参画の募集は、令和5年夏頃に森ハブHPでお知らせする予定です。



森ハブHP

(<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaihatu/morihub/morihub.html>)